

# 公安委員会定例会議(第4回)の開催状況

第1 日 時 令和5年2月8日(水)

午後1時30分 ～ 午後4時00分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、佐伯委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

昨日、フィリピンから広域強盗事件を指示していた疑いがある日本人4人のうち2人が日本に送還されるというニュースを拝見しました。これを契機に、全国警察による突き上げ捜査等が進展し、一連の事件の全容が解明され、凶悪犯罪組織の壊滅につながることを期待しています。

さて先週は、建替え工事が完了する直前の松山東警察署庁舎を視察しました。署員が新庁舎の建設をきっかけに気分を一新し、これまで以上に良い仕事ができることを期待しています。また、どんな施設も最初は綺麗ですが、何年か経つと汚れてきます。全職員が常日頃から施設を大切に扱い、汚れに気づけば都度掃除あるいは補修するなど、いつまでも綺麗で整理整頓された清潔感のある職場環境を維持していただきたいと思います。

本日は、感染症の歴史について少しお話します。

パンデミックが発生したとされる最も古い記録は紀元前430年のギリシャです。疾患名は不明ですが、死者数は7万から10万人とされています。中世の14世紀にはヨーロッパでペストが大流行し、全人口の4分の1から3分の1にあたる約2,500万人が死亡したという記録があります。また、19世紀にはコレラが世界の7地域で発生し、日本でも幕末から明治にかけて流行しました。20世紀に入ってからには新型インフルエンザが猛威を振るい、1918年のスペイン風邪では推定4,000万人以上、1957年のアジア風邪では推定200万人以上、1968年の香港風邪では推定100万人以上が死亡したとされています。

現在、新型コロナウイルスによる感染者数は世界で約6億7千万人、日本で約3,200万人、死者数は世界で約685万人、日本で約7万人に上ります。その一方で、新型コロナウイルス感染拡大「第8派」はピークを越え、ここ数週間、感染者数は減少傾向を続けており、このまま収束すると見られています。

日本政府は5月8日に2類相当から5類に移行する方針を決定しましたが、屋内のマスク着用をどうするのが気掛かりです。最終的には、個人の判断になると思いますが、県警察、民間企業、各種団体等が政府の方針を踏まえてしっかりと検討する必要があります。いずれにしても、一日も早くマスクを外し、以前の日常が戻ってくることを期待しています。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和5年第3回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 愛媛県警察組織規則の一部改正

警務部から、愛媛県警察組織規則の一部改正について伺いがあり了承した。

### (3) 令和5年度組織別定数の策定

警務部から、令和5年度組織別定数の策定について伺いがあり了承した。

### (4) 警備業法施行細則の一部改正

生活安全部から、警備業法施行細則の一部改正について伺いがあり了承した。

### (5) 警察職員等の援助要求

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

### (6) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果14件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

## 3 報告事項

### (1) 令和5年度当初予算案の概要

警務部長から、令和5年度当初予算案の概要について報告があった。

委員から、「民間給与との較差や人事院勧告に伴い、職員の人件費が増額補正されたことは喜ばしい。職員のモチベーションが上がり、地域住民の安全・安心の確保に向けた取組がさらに加速することを期待する」との発言があった。

委員から、「引き続き、道路標識・標示や信号機等の新設・更新等の交通安全対策を推進していただきたい」との発言があった。

### (2) 令和4年中におけるサイバー犯罪の現状と今後の対策

生活安全部長から、令和4年中におけるサイバー犯罪の現状と今後の対策について報告があった。

委員から、「DX時代の到来により、デジタル技術が社会の隅々まで浸透する一方で、社会の至る所にセキュリティリスクが存在し、従来のやり方ではリスクに対処できなくなる可能性がある。サイバー犯罪への対処が後手になることがないように、サイバーの脅威に関する広報啓発活動に積極的に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「サイバー犯罪被害防止キャラクター『サイバー犬隊 ネットの安全まもるンジャー』を活用するなどして地域住民のサイバー犯罪への関心を高めるとともに、サイバー犯罪の手口や対策等について繰り返し分かりやすく広報していただきたい」との発言があった。

委員から、「あらゆるサイバー犯罪に対応できるように、高度な知識・技能を持つサイバー人材を組織的・計画的に育成していただきたい」と

の発言があった。

(3) 殺人事件被疑者の検挙

刑事部長から、殺人事件被疑者の検挙について報告があった。

委員から、「このような悲惨な事件が二度と起こらないように、関係機関と連携しながら再発防止に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「引き続き、事件の全容解明に向けた適正捜査を推進していただきたい」との発言があった。

(4) 西日本豪雨補助金不正受給詐欺事件被疑者の逮捕

刑事部長から、西日本豪雨補助金不正受給詐欺事件被疑者の逮捕について報告があった。

委員から、「こうした事件が再び起こらないように関係機関との連携を密にしていきたい」との発言があった。

委員から、「引き続き、類似する事件がないかという視点を持って業務に取り組み、公正を害する行為を掘り起こして一掃していただきたい」との発言があった。

委員から、「緻密な捜査を推進して検挙に至った。引き続き、適正捜査を推進し、事件の全容解明に努めていただきたい」との発言があった。

(5) 特殊詐欺（架空料金請求詐欺）事件被疑者の逮捕

刑事部長から、特殊詐欺（架空料金請求詐欺）事件被疑者の逮捕について報告があった。

委員から、「県民を特殊詐欺被害から守るため、地域住民の耳目に届く工夫を凝らした広報啓発活動に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「引き続き、『だまされた振り作戦』の広報啓発活動を推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「特殊詐欺グループの実態解明を進め、突き上げ捜査により犯罪組織の上層部に位置する被疑者を検挙していただきたい」との発言があった。

(6) 「第60回愛媛マラソン」開催に伴う交通対策

交通部長から、「第60回愛媛マラソン」開催に伴う交通対策について報告があった。

委員から、「愛媛マラソンは景色が良く全国でも人気の市民マラソンの1つである。ランナーのほか、ボランティアや応援者等で賑わいが予想されるため、関係機関と緊密に連携し、周辺地域の安全確保に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「新たにランニングポリスを配置して突発事案に対処できるようにしたことは素晴らしい。引き続き、柔軟に交通規制するとともにテロの警戒等にも留意していただきたい」との発言があった。

(7) 新警護要則等に基づく警護警備実施状況

警備部長から、新警護要則等に基づく警護警備実施状況について報告があった。

委員から、「過去の失敗を繰り返さないように、警護計画は様々な角度から繰り返し検証し、『警戒の空白』が生じないようにしていただき

たい」との発言があった。

委員から、「イレギュラーなケースが発生しても的確に対応できるように、準備に万全を期していただきたい」との発言があった。

(8) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、令和5年1月末現在の苦情の受理及び処理状況に関する報告があった。

(9) 人事案件

警務部から、人事案件に関する報告があった。

(10) 人事案件

警務部から、人事案件に関する報告があった。

#### 4 その他

本部長から、「長引くコロナ禍の中、県警察では県内の感染状況を踏まえ、行事や競技等を中止あるいは縮小開催するとともに、県内の治安確保に支障がない範囲で時差出勤や勤務制限等の措置を講じるなど感染拡大防止対策を推進してきた。こうした中、最近ではコロナ感染者数が減少傾向にあり、様々な社会活動や行動制限が緩和されつつあることから、術科大会を始め警察活動に必要な取組については、できるものから再開していきたい」「マスクの着脱については緩和の議論がある一方、警察においてどう対応していくかについては、状況を見据えながら最善策を模索してまいりたい」との発言があった。

以 上